

藤里町立藤里中学校耐震 2 次診断結果報告書

藤里町教育委員会 学校教育係

.耐震化計画

藤里中学校は、「昭和 56 年以前の構造基準で建設された建物で、非木造の 2 階建て以上又は床面積 200 m²を超える建物」に該当するため、耐震診断及び耐震補強が義務付けられています。

このため、平成 15 年度には耐震 1 次診断、平成 20 年度には耐震 2 次診断を実施しました。

平成 21 年 9 月 11 日に提出された本調査結果に基づき、構造耐震指標（Is 値）が 0.7 未満の学校施設について耐震補強工事を行う予定です。

.第 2 次耐震診断結果

平成 20 年度（繰越）において、藤里中学校の校舎および体育館の第 2 次耐震診断を行いました。

結果について下記のとおりです。

なお、藤里中学校の教室棟、屋内体育館では、第 2 次診断による Is 値が目標としていた数値（0.7）未満であったため、今後、耐震補強設計、耐震補強工事を行う計画です。

藤里中学校第 2 次耐震診断結果

番号	施設名称	建築年度	構造・規模	保有面積 (m ²)	1 次診断 Is 値	2 次診断 Is 値	備考
1	教室棟	S43	RC 構造 地上 3 階・ 塔屋 1 階	2,946	0.16	0.29	
2	教室棟	S44	S 構造 地上 1 階・	429	0.16	0.78	
3	教室 渡り廊下	S45	RC 構造 地上 1 階・	25	-	0.31	
4	屋内 体育館	S49	S 造 地上 1 階	1,053	0.26	0.19	

< 参考 >

Is 値とは、建物の耐震性を判断するための数値（構造耐震指標）であり耐震診断により、Is 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省では、学校施設においては地震時に児童・生徒の安全性、または災害時の避難場所としての機能を考慮して、「補強後の Is 値がおおむね 0.7 を超えること」としています。

. 耐震補強設計

平成 21 年 9 月 11 日に報告された藤里中学校の校舎および体育館の耐震 2 次診断の結果に基づき、耐震補強設計を検討しました。

なお、これらの耐震補強工事を平成 22 年度完了を目標に平成 21 年度内の工事着手を予定しています。

耐震補強設計内容

番号	施設名称	2 次診断 Is 値	耐震補強 設計後 Is 値	耐震 2 次診断結果	耐震補強計画
	教室 棟	0.29	0.73	Is 値は、1 階 0.29、2 階 0.35、3 階 0.55 と基準値を下回っている。	外付けフレーム（鉄骨内蔵 RC 枠付ブレース）による補強 11 箇所、スリットの設置 65 箇所、袖壁増設 8 箇所
	教室 棟	0.78		基準値を上回っているが、屋根面（桁行方向）の荷重伝達能力が不十分である。	屋根面ブレース補強 4 箇所
	教室 渡り廊下	0.31	0.71	基準値を下回っており、張間方向で耐震性能が不足している。	柱梁仕口の補強 6 箇所
	屋内 体育館	0.19		基準値を下回っており、屋根面荷重伝達能力が不十分である。	現在、補強計画を立案中。